

福岡市から始まり広がる 認知症フレンドリーシティ

日時 2020年9月26日(土) 9:00-12:30 参加費・無料 事前登録制

基調講演

世界初！福岡市救急隊におけるユマニチュードの取り組み
財部弘幸（福岡市消防局 警防部救急課 救急指導係長）

地域社会に広がるユマニチュード ※通訳あり
イヴ・ジネスト（京都大学こころの未来研究センター 特任教授）

パネルディスカッション

**福岡市はユマニチュードにどう取り組んだのか
ー実践者からの報告ー**

大津省一（家族介護者） 松原弘美（ユマニチュード地域リーダー）

笠井浩一（福岡市 保健福祉局 高齢社会部認知症支援課）

安武澄夫（ユマニチュードインストラクター 福岡市原土井病院）

本田美和子（東京医療センター）

ランチョンセミナー

家族介護者を支援する「CareWiz(ケアウィズ)」のご紹介

前川 智明（株式会社エクサウィザーズ AIケア事業部CareTech部長）

市民公開講座はオンライン事前登録制です。
参加ご希望の方は日本ユマニチュード学会サイト
<https://jhuma.org/20200926fukuoka/>
または、右のQRコードからお申し込みください。



 **同時開催・第2回日本ユマニチュード学会総会 14:00-16:00**
学会会員のみ参加可能

ユマニチュードの実践に関する研究成果・事例報告

第8回 市民公開講座

福岡市から始まり広がる認知症フレンドリーシティ

2012年から日本への導入が始まった知覚・感情・言語による包括的ケア技法のユマニチュードは、施設や病院だけでなく、自治体、地域社会、家庭、学校などで幅広く利用され始めています。それと同時に国立研究開発法人科学技術振興機構を始めとする公的研究資金を得て、情報学、心理学、哲学、人工知能などさまざまな分野の専門家とともに臨床研究も進んでいます。

8回目となる今回の市民公開講座では、「福岡市から始まり広がる認知症フレンドリーシティ」をテーマに、街ぐるみでユマニチュードの導入に取り組んでいる福岡市の活動の紹介と、実践者としてご活躍の市民の皆さまとのパネルディスカッションを行います。

プログラム 2020年9月26日（土） 事前登録制・オンライン開催

- 9:00 開会の辞 来賓挨拶** 公益財団法人生存科学研究所 理事長 青木清
福岡市長 高島宗一郎
-
- 9:30 基調講演1**
世界初！福岡市救急隊におけるユマニチュードの取り組み
福岡市消防局 警防部救急課 救急指導係長 財部弘幸
- 10:00 基調講演2**
地域社会に広がるユマニチュード
京都大学こころの未来研究センター 特任教授 Yves Gineste
-
- 11:10 パネルディスカッション**
福岡市はユマニチュードにどう取り組んだのか -実践者からの報告-
家族介護者 大津省一 ユマニチュード地域リーダー松原弘美
福岡市役所 笠井浩一
ユマニチュードインストラクター 原土井病院 安武澄夫
東京医療センター 本田美和子
-
- 12:00 ランチョンセミナー**
家族介護者を支援する「CareWiz(ケアウィズ)」のご紹介
前川 智明 (株式会社エクサウィザーズ AIケア事業部CareTech部長)
-
- 12:30 休憩・日本ユマニチュード学会 第1期社員総会 (正会員のみ)**
-
- 14:00 日本ユマニチュード学会総会 (学会員のみ)**
ユマニチュード実践に関わる研究成果・事例報告
-
- 16:00 閉会**

公益財団法人 生存科学研究所

本研究所は、急速な科学の進歩により生じる新たな危機から人類をまもるため、凡ゆる領域から総合的に『生存』問題に取り組む研究所として、医師会会長を長く務めた故武見太郎先生により1984年に設立されました。その活動はホームページ (<http://seizon.umin.jp>) に掲載されています。会員は生存科学に関する自主研究を様々な視点から行い、講演会、シンポジウム、あるいは学術誌「生存科学」を通じ、広く一般の方々とその成果を共有するよう努めております。

一般社団法人日本ユマニチュード学会

知覚・感情・言語によるマルチモーダル・ケア技法：ユマニチュードは、フランスで40年余りの歴史を持ち、現在フランスのみならず、欧州、北米、東南アジア、中国など多くの国々で実践されています。日本では2012年より導入が始まり、ケアの専門職のみならず、心理学、哲学、工学、情報学などの研究者による学際的な研究が進められています。2019年にはこの活動をより社会に役立てることができるよう、一般社団法人として発足しました。